

月の館

信濃観月文庫

通信

麻績村
発行/信濃観月苑

長野県東筑摩郡麻績村麻 8059-2
TEL・FAX (0263)67-3933

第31号

春水満四澤

しゆんすいたくになみつ



社海堂
2021.9/3

麻績村
信濃観月苑

草木屋の百色

山路の赤茶

山崎 樹彦

生まれ育った場所の近

く、碓氷川を渡ってすぐ

そばに、丘陵がありました

た。小学校低学年の頃は、

親や叔父また近所の上級

生に、その「山」によく

連れて行ってもらいまし

た。小学校高学年では同

級生や時に一人で、中学

校や高校に入ってから、

山芋掘りの名人と言われる

た友人や同級生と同じよ

うな場所を飽きるることな

く訪ねています。虫取り、

沢蟹取り、山芋掘り、山

菜採りなど季節ごとの楽

しみに加え、時には何の

目的もなく、ただ歩き回

るだけのこともありまし

た。小さな沢を登り、森

を歩き、尾根に出て遠く

の山々や空を眺めてから

帰る。めったに人には出

会いませんでしたが、そ

の山には人が踏み込んだ

られました。

最近では駐車場から歩い

て10分程の所にしか行か

なくなりましたが、それ

でも分け入った山道は楽

しい場所です。同じ道で

もその時々表情があり、

気象によって、時間帯に

よって、季節によって、

いつも馴染んで親近感の

ある場所に、その都度新

たな発見があるようです。

染色のほうでも山路は

季節ごとに多くの恵みを

もたらしてくれています。

赤茶染では初夏から夏に

かけて、身近な「山」で

採集できるアカソの仲間

(メヤブマオ、ヤブマオ、

アカソ、コアカソ)やイ

タドリ、コゴメウツギが

毎年の染色の定番になっ

ています。

20年ほど前、道の際に

あるイタドリを採集した

ことがありました。一番



液のアルミ媒染で黄色が染まり、二番液では赤茶に染まりました。イタドリや枇杷の葉の染色では、昔は水に対して染料をたくさん使っていたので、

てきました。色素は濃度、酸化条件によって変化をしていき、ある状態で媒染されれば、そこで安定した物質に代わり、その色で固定されるようです。

一番液で黄色が染まり、二番液や三番液では同量の水で煮だしたので、色素濃度が下がり、酸化条件なども付加して、その時は、たまたま赤味の色素に変化していたようです。当初は『一番液で黄色の色素、二番液で赤い色素が出てくるのです。』などと説明していたのですが、同じ水溶性の物質が、水で煮だすという同じ条件で、そんなに都合よく別々に溶出てくるわけがないという小学生並みの矛盾に気づき、初めから少ない量を煮だせば、多くの試験布染で実証し

媒染とは明礬液（硫酸アルミ溶液）や鉄液（硫酸第一鉄や木酢酸鉄液）に浸し、色素と金属を結合させて、錯体やキレートといった強固な分子構造に変え、結果として発色と繊維との結合を増進させる化学反応です。アカソの仲間、栃の葉、枇杷、ソヨゴの葉、山椒の葉、藤の葉、桜の小枝、梅の小枝、ケヤキ、白樺、ブナも染液の濃度によって、黄色から赤茶、茶色が染まります。

紅花や茜、紫、クサギの実などは濃度の違いで別な色になってしまったりしません。初めからあ



る程度安定した絵具的な色素が主のようです。このような染料や変化を終えてしまったエキス染料などは、多く使えば、その分その色のまま濃くなる傾向がありますが、多くの植物色素は様々な条件によって変化が見られ、状態によって色も変わっていくようです。また、煮出す前に植物が持っている酵素を活性化する前処理（葉を揉み千切ったり、枝の皮をむいてやつたり）をすることで、格段に鮮やかな色素に変化するものもあります。

酸化条件の違いだけではない様々な要因があるらしいのです。わからないことを仲間と試験布染をして、解決していく試みはまだまだ遠く果てしないようです。

イタドリはそれに加え、6月には染まらなかった、7月には染まらなかったり、同じ時節でも場所によって染まらなかったり、成長との関連、土壌との関連が結構影響するらしく、単に染色濃度と

群馬県藤岡市の土と火の里の裏山は地元の方の所有で、染色工房の主の安藤理恵さんが観察と採集の許可を取ってくれました。駐車場から歩いて1分の山道は、無精な私にとって、自然に触れる良い機会になっています。

そこでの講習は型染が主ですが、30分から1時間をかけての散策も行います。四季折々の花や染料の植物が多く見られ、実際の植物を見ながらの草木染漫談になっています。道の両脇には、杉、アカソ、イタドリ、コゴメウ



ツギが見られます。赤茶系以外ではゲンノシヨウコ、ヒノキ、小鮎草、五倍子（ヌルデ）、キブシ、アカシデ、ハンノキ、日本茜、ヤエムグラ、クサギ、栗などがあります。土と火の里の敷地内には楠、エンジュ、シヤリンバイ、椿、山茶花、桜、ケヤキ、花梨、梅、クルミが植えられています。夏、山道の奥に葛の花が咲いていました。『葛の花 踏みしだかれて色あたらし この山道を行きし人あり』

一時、父に代わって表紙の木版画を制作していたことがある水町京子さんの短歌雑誌『とおつびと』の題字は水町さんの師匠であった折口信夫（釈超空）のもの聞いていました。中学生のころから、釈超空のこの短歌が

私の山歩きに一番馴染む言葉のような気がしていました。

今まで遠くの先人を意識していた私も山路の旅人の一人として、後に続く人に何かの痕跡をそれとなく残しておきたいと思うこの頃です。

山崎 樹彦
(やまざき たてひこ)



一九五八年 群馬県高崎市生まれ
一九八二年 北海道大学理学部卒
父、山崎青樹の経営する草木染研究所に入所
実務を担当していた叔父、篠崎節に草木染及び草木染型染を学ぶ
二〇一一年 群馬県富岡市妙義町に移住
風土に根ざした草木染の確立に向けて研究、創作を行っている
草木屋代表、草木染伝習所主宰

ニッケルハルパ 演奏会

関崎 奈都子(麻績村出身)



北欧の国スウェーデンの伝統楽器にニッケルハルパという楽器があります。

最近では日本の音楽の教科書にも載っているようで徐々に日本でもニッケルハルパの事を知っている人が増えつつあるのかなと思います。知らない人がほとんどだと思いますのでニッケルハルパという楽器の説明をしたいと思います。

ニッケルハルパは弦楽器

で弓で弾いて演奏します。

弦は全部で16本ありますが、実際に演奏で使うのは一本のドローン弦と三本のメロディー弦です。

あとの12本は何に使うのかというと共鳴弦として使われています。それぞれの弦が12音にチューニングされていて、同じ音のメロディー弦を弾くと同じ音にチューニングされた弦が共鳴して震えます。それによって、お

風呂の中で歌っている時にとっても響くのと同時にホワンとした響きのある演奏が可能となります。

他の弦楽器であるバイオリンやチェロなどは自分の指で弦を押さえることによって音を变ええると思います。ニッケルハルパの場合はキーと呼ばれるものを押しタンジェントが弦を押す事により音を変ええることができます。

キーはたいいてい黄色と黒に塗られていてそれぞれピアノの白鍵と黒鍵の役割をします。

ニッケルハルパは手作りなので大体の形は決まっていますが、作り手によってキーの色が塗られてなかつたりデザインが違ったりします。

そんなニッケルハルパに見事に魅了されてしまった私はスウェーデンで



ニッケルハルパやスウェーデンの民族音楽について学ぶことができる Eric Sahström Institutes という学校に留学しました。

私の留学した学校には演奏科とダンス科があって授業の項目にはダンスや歌の授業もありました。

学校のすぐ近くにある寮にクラスメイト達と住んでいましたが、スウェーデンでは何歳になっても自分が学びたいと思った

ら学校に行くので、50代の方や70代の方などがいましたし、また若い子でも手先の器用な子が多くスウェーデンの家庭料理や伝統工芸などについても教えてもらう機会があったとても楽しかったです。

森に行つてリンゴンベリーやブルーベリーを積んだりクリスマスの前にはみんなで作ったお菓子を作ったりしてクリスマスの準備をしただけでした。

クリスマスの朝に教会に行つてご飯を食べたり、歌を歌つたりもしました。

よくスウェーデン人はみんなが集まって楽器を弾いたりダンスをしたりまする会を開くのですが、その会に参加したりもしました。

演奏やダンスの会は地域によって演奏する曲が違つたりダンスの種類が違つたりしてとても興味深く、ますますスウェーデンの民族音楽とニッケルハルパが好きになりました。

スウェーデンの民族音楽の楽しさを1人でも多くの人に伝えられたらいいなと思っています。



ギャラリー展

予定は変更になることがあります。

江間廣・凡俱樂部作陶展

6月5日(日)～6月20日(月)

出展／江間廣・陶芸教室会員

草木屋 草木染展

6月23日(木)～7月4日(月)

出展／山崎樹彦・澄子 山崎杜人・山崎美季・山崎梢

きりえ展 野苺の小径より

7月7日(木)～7月25日(月)

出展／日達れんげ・チャールズ日達

更級花織工房展 ～あんずのいのちを絵絣に織る～

8月20日(土)～8月29日(月)

出展／窪田孟恒 窪田紘子 協力：永岡真由美

岸田怜作陶展

9月3日(土)～9月19日(月)

出展／岸田怜

天山窯 一條隆好作陶展

9月23日(金)～10月11日(火)

出展／一條隆好

ギャラリー展は4時30分まで、展示最終日は午後3時までです。

冬期間や空いている間に、お宝展、俳句作品展、草木染の展示をすることがあります。

貸館も致します。

観月苑文化講座

参加者募集中

予定は変更になることがあります

芭蕉講座

終了後は中国詩選講座

【第3木曜日】

10:00～11:30

会費／月1,000円

(前期・後期とも各6,000円)

講師／「岳」同人窪田英治

「奥の細道」を読み終え芭蕉の晩年について学んでいます

初心者、実作者のための

俳句講座(一回)

【夏を予定】

会費／1,000円

講師／「岳」編集長 小林貴子先生

を予定しています

催し物 案内

予定は変更になることがあります。

第30回月の里俳句作品募集

募集締切 **8月31日水**

変更はありません。

大人 3句一組（何組でも可） 投句料／1組 1,000円

高校生は投句料無料

こども おおむね小学3年生～中学生 2句まで 投句料無料

選者／「信濃俳句通信」主宰・佐藤文子

「岳」編集長・小林貴子

「梟」同人・水上孤城

第22回曼陀羅の里お月見俳句大会

10月8日土

予定は変更になることがあります。

13:00～16:00

当日句 2句一組（自由題）

会費／1,500円

（投句料・聴講料・昼食等）

選者／「信濃俳句通信」主宰・佐藤文子

「岳」編集長・小林貴子

「梟」同人・水上孤城

茶室清香亭月釜

松林のなかの茶室にて季節のお点前をお楽しみください。

時間 10:00～14:00 日時は変わることがあります。

会費／一席 600円

点心&お抹茶 2,500円（要予約。3名様以上）

5月29日 表千家流 清流会矢口社中（筑北村）

6月5日 石州流 芳香庵松悠（筑北村）

煎茶道 黄檗東本流 長瀬鶴早（中野市） 耕月軒

6月19日 裏千家 島津宗純社中（長野市）

9月18日 表千家流 鈴木康之（名古屋市）





ニッケルハルパ コンサート

5/29 日

14:00
~ 15:30

場所/月の館大寄せの間

ニッケルハルパ演奏と語り/関崎 奈都子



みんなで歌いましょう! 合唱指導とテノール独唱

6/19 日

14:00
~ 16:00

場所/月の館大寄せの間

講師●テノール独唱/しまづ かずへい 島津 和平

ピアノ伴奏と独奏/津金 真裕美



おくむら みか 奥村 美佳ピアノコンサート

9/4 日

場 所/月の館大寄せの間

参加費/おとな 1,500 円

ピアノ/奥村 美佳

14:00
~ 15:30

とお やま のぞみ いま い ち なみ 遠山 望・今井 千波 デュオリサイタル

場 所/月の館大寄せの間

参加費/おとな 1,500 円

サクソフォン/遠山 望

ピアノ/今井 千波

10/1 土

14:00
~ 15:30



第二十九回 月の里俳句入選作品

一般の部

佐藤文子選

特選	走り根を枕の蟬に空深し 台風の口笛もはや狂気なる	松下 勝昭 西澤日出樹
秀逸	秋憂う苦難にあえぐ水の星 星屑の密かに宿る花野原 決めたのは流れる自由花筏	西田 浩一 松澤あきら 松下 勝昭

神田北童選

特選	百年の深き片蔭繭の倉 山湖暮れなほ淵ほのと合歓の花	竹内 雪絵 竹内 雪絵
秀逸	通草引く全山震ふこともなく 決壊の土手の夕映え枯尾花 八ヶ岳のぞむ花野の放つグライダー	山崎 妙子 吉池 史江 松澤あきら

佐藤文子選

特選	ダンボール開けたら大きなスイカなり 夕焼けがきれいに見える山の中	共和小学校 五年生 武田 竜弥 筑北小学校 六年生 山越 裕斗
秀逸	セミの声はかない命の大合唱 夏祭り大切な人と花火みる なつこのよるばはとじゅえきみつけたよ	共和小学校 六年生 三浦 清楓 麻績小学校 五年生 三浦 羽未 共和小学校 一年生 ももせじんと

神田北童選

特選	夏の昼本の世界へ旅をする 炎天下田んぼの中に水馬	共和小学校 六年生 東 史佳 今井小学校 五年生 山田 心花
秀逸	話してゐる太陽に向かつてひまわりが かたつむり左まがつて右まがる どんぐりがかわいいいぼうしかぶつてる	麻績小学校 四年生 藤澤 穂奏 共和小学校 三年生 みやざわそう馬 麻績小学校 三年生 とうまなり

小林貴子選

特選	流木に跨る女三鬼の忌 鳴き交はし距離の詰まらぬ鳩の恋	吉澤 利枝 小川恵美子
秀逸	猿の群れゆつさゆつさと栗落し 八朔や草食む馬の歯は平ら 姥百合の実るまで莢身じろがず	古林 孝子 酒井 和子 若月はつ江

水上孤城選

特選	車窓より手足だしたる昼寝かな 梵鐘の無き鐘楼に蟬の殻	小川恵美子 篠田 暘
秀逸	伽藍跡の礎石が机夏期講座 歓声なきオリンピックや田水沸く 決壊の土手の夕映え枯尾花	志村寿美代 久根美和子 吉池 史江

小林貴子選

特選	やきそばを食べれば思う海の家 へびがいえにきていえがへびのにおい	麻績小学校 四年生 小島あかり 共和小学校 一年生 おかざわしん
秀逸	かき氷ストローさしてからつぱに 夜のまどあかりをたより来るかえる いすの上どろどろとける暑さかな	共和小学校 三年生 小林 叶夢 共和小学校 六年生 柳沢 愛羽 共和小学校 六年生 宮川茉南弥

水上孤城選

特選	コロナ増え雨降り続き夏終わる いすの上どろどろとける暑さかな	共和小学校 六年生 小林 央弥 共和小学校 六年生 宮川茉南弥
秀逸	ドロまみれ田の草とりで汗まみれ 上を向けひまわりとボク未来みて 処暑の夜キヤミソールから半そでへ	今井小学校 五年生 上條 愛弥 共和小学校 六年生 山田 結月 共和小学校 六年生 土屋 日乃



耕月軒の降りつくばい

耕月軒の楓

小学生の部

信濃観月苑をご利用ください

広く文化活動や研修会、お茶会等にどうぞ
お問い合わせ・ご予約 TEL/FAX 0263-67-3933
メール kangetsu@vill.omi.nagano.jp

小間の茶室「清香亭」

■利用料金 / 1会 10,000 円



ギャラリー

展示発表の場としてご利用ください。

■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円



観月堂

お茶会、句会、月見の宴などにご利用ください。

■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円



大寄せの間

(2F 40 畳和室) ステージ付

お茶会、お稽古、句会、研修会、コンサート会場などにご利用ください。

■利用料金 / 半日 3,000 円・1日 6,000 円



広間の茶室「耕月軒」

■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円

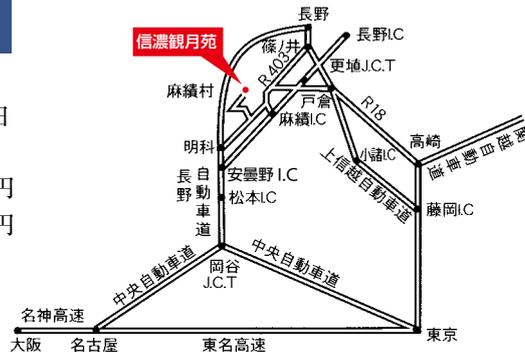
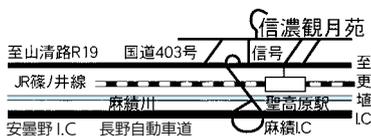
お抹茶 600 円 (要予約)
点心 2,000 円 (3名様より。要予約)

グランドピアノ / KAWAI GM-10 ご使用時
■利用料金 / 半日 5,000 円・1日 10,000 円

信濃観月苑

長野県東筑摩郡麻績村麻8059-2 〒399-7701
TEL/FAX (0263) 67-3933

開苑時間 午前9時～午後5時
休苑日 毎週火曜日 (火曜祝祭日は開苑、水曜休苑)
入場料 個人 高校生以上 300 円
 小人 150 円
 団体 20 名以上 2 割引



麻績村のホームページ <http://www.vill.omi.nagano.jp>

表紙/身のまわりを見つめれば、
気付かなかったたくさんのことに気付く